

マレーシア工科大学の大学生 100 名、日本文化交流プログラムに参加

<http://news.utm.my/malay/2017/03/100-mahasiswa-utm-hadiri-program-budaya-jepun/>

2017 年 3 月 9 日 ジョホールバル

本日、マレーシア工科大学(UTM)の大学生 100 名が、言語アカデミー(Language Academy)主催の日本文化交流プログラムに参加した。

プログラムコーディネーターであるクマラグル先生によると、この文化交流プログラムは、現地大学生が「日出ずる国」の伝統と文化をより身近に感じることを目的としており、筑波大学日本語・日本文化学類からの日本語教育実習生、坂井香澄さん、大竹春菜さん、鈴木海翔さんが、「茶道」「着物」や伝統的な遊びを紹介した。「2月17日から3月11日までの3週間、言語アカデミーで教育実習を行い、最後、帰国する前に日本文化紹介をしてもらったんです。」と、クマラグル先生が説明してくれた。実習生は、伝統文化以外にも、日本の人気漫画や日本社会の仕組みについての紹介も行った。

この実習は、2009年の両大学間の合意に基づき、マレーシア工科大学の言語アカデミーが筑波大学の日本語教育実習生を受け入れて、クマラグル先生のもとで3週間行うもので、教育実習と、この文化紹介が単位取得条件となっている。「筑波大学は、マレーシアの他に、アメリカ、ロシアやイタリアにも日本語教育実習生を派遣しており、マレーシア工科大学を実習先として選んでくれたことは、大変光栄なことです。」と、クマラグル先生は言う。

このプログラムは双方向的であり、支援団体である国際交流基金を通じて、マレーシア工科大学の日本語専攻の大学生1名が、大阪にある国際交流基金関西国際センターへの6週間の「大学生訪日研修」に派遣されることが決まっているとのこと。

《写真》

- ・着物着付け指導：日本語・日本文化学類2年 大竹春菜さん
- ・茶道のデモンストレーション：日本語・日本文化学類4年 坂井香澄さん